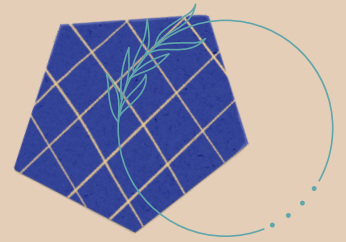


連載 改善の手順 ～QCストーリーとその選択～

第12回 本連載のまとめ

須加尾 政一 著



私が担当する連載も今回が最後となります。
最終回は、QCストーリーの使い方とその秘訣について、解説していきます。

1. 改善するとき、QCストーリーは使わないといけないの？

セミナーなどの研修会において、「QCストーリーに沿って改善しなければいけないのですか？」などの質問を受けることがあります。この質問に対してのお答えを示す前に、改善の種類について考えてみましょう。私は、改善の種類を大きく3つに分けています（図12）。

①即改善（Just Do It）

日常生活や仕事であっても、ある問題ややりにくさに気づいた瞬間に対応策がすぐに思いつくというような経験はありませんか。例えば、家でハサミが見つからずにイライラしてしまった。そこで、自分でハサミ置き場もしくは文房具置き場を決めて守るようにする。このように、問題を認識した時点で、すぐに対策案が思いつくようなものを「即改善（Just Do It）」と呼んでいます。

②知恵出し改善

会社のファイル棚で「必要な文書ファイルが見つからない」というケースを考えてみましょう。このような場合には、自分だけでルールを作ってもダメで、皆でどうしたらよいかを考えなくてはなりません。そうすることでよいアイデアが生まれ、ルール化でき、周知徹底もできます。何よりも自分たちで決めたルールなので、守らなければ皆に迷惑をかけるという心理が働き、継続しやすくなるというメリットもあります。一人では決められないが、皆で知恵を出して考えればいとも簡単に解決する。このような改善を「知恵出し改善」と呼んでいます。改善提案やカラクリ改善の一部もこれに該当します。

③体系的アプローチによる改善

体系的な手順に則って改善を進めることで、誰でも取り組めるようにしたものが「体系的アプローチによる改善」です。代表的な改善手順として、これまで解説してきました問題解決型QCストーリー、課題達成型QCストーリー、施策実行型QCストーリー、未然防止型QCストーリーがあります。

即改善や知恵出し改善を実施する際にはQCストーリーは使っていません。このことから、何が何でもQCストーリーを使わなければならない、との考えは違っていることがわかっていただけたと思います。

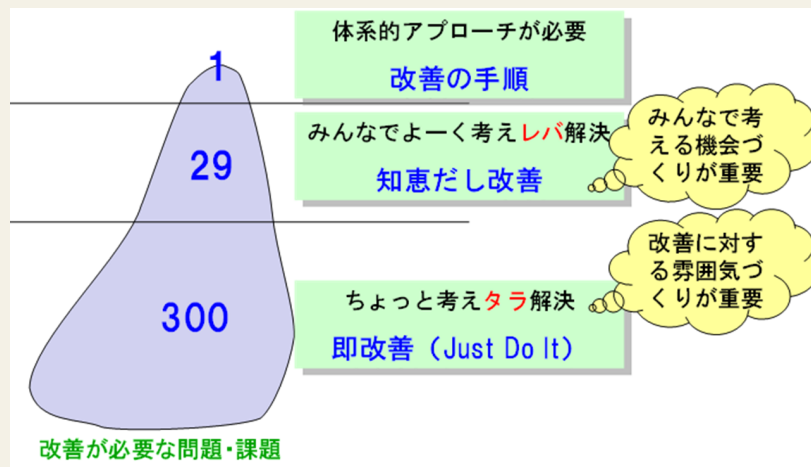


図12 改善の種類（レベル）

（次ページへつづく）

連載 改善の手順 ～QCストーリーとその選択～

2. QCストーリーを使わなくてはいけないのは、どんな時？

問題に対して、これまでの経験やノウハウから絶対的にこの対策で良くなるという確信があるのであるならば、すぐに対策を打つべきです。しかし、残念ながら対策を実施しても思うような効果が出ないときもあります。そのような時には、基本に戻り、問題解決型QCストーリーでじっくり改善する必要があります。

逆に、絶対的に確信が持てる対策案がテーマの選定段階からわかっており、この対策案が選ばれるように何ヶ月も掛けて問題解決型QCストーリーで改善を進めるのは時間のムダと言えます。

QCストーリーを使って改善すべきか、使わずに改善すべきかは、絶対的に確信が持てる対策案が見えてくるかどうかで判断するのがよいでしょう。

3. 4つのQCストーリーを使い分ける秘訣は？

本連載の第4回において、「QCストーリーの4つの型の特徴と型の使い分け」を解説しました。ここでは、別の視点を用いて4つの型の特徴（表10）と使い分け（図13）を示しておきますので、参考にしてください。

表10 4つの型の特徴

型の種類	問題か課題か	要因解析の有無
問題解決型	問題	有り
課題達成型	課題	無し
施策実行型	問題	無し
未然防止型	どちらでもない	無し

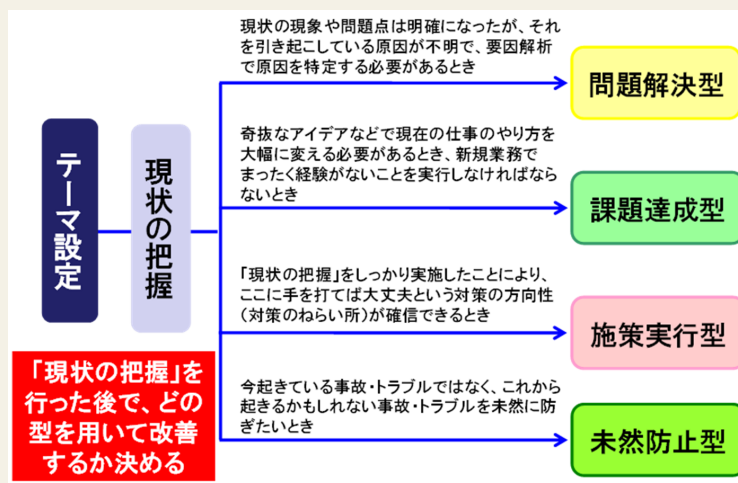


図13 4つの型の使い分け



著者紹介

須加尾 政一（すがお まさかず）

日本科学技術連盟 嘱託／Q & SGA研究所代表

日本科学技術連盟 QCサークルセミナー運営委員会委員、QCサークル推進者コース運営小委員会委員、QCサークル指導士資格審査委員会委員、若葉マークのためのQCサークル体験教室運営小委員会委員長、職場の問題解決力レベルアップコース、QCサークルリーダーコース、徹底した現状把握から改善につなげる施策実行型セミナー、品質管理セミナーベーシックコースなどの講師。QCサークル本部認定指導員、QCサークル本部認定講師、『QCサークル』誌編集副委員長、日本福祉施設士会福祉QC指導講師。

東京農工大学工学部修士課程卒業（1983年）、小西六写真工業株式会社（現在のコニカミノルタ株）を経て現職。主な著書：『すぐわかる問題解決法』（2000年）、『はじめて挑戦！QC検定3級短期集中講座』（2018年）、など多数。